

【学校教育目標】「進んで学び 共に世界で生きる子」

1 令和4年度の取り組み

合言葉	にこにこ えがおで なかよくします	しっかり かかわり かんがえます	のびのび げんきに かつどうします	こつこつ ねばりづよく とりくみます
子供像	相手を思いやりだれもが気持ちよく過ごせるよう行動する子	人・もの・ことのかかわりから進んで学ぶ子	自分の心と体を知り、健康・安全に気を付け、自己の向上を目指して活動する子	自分の思いや考えを持ち ねばり強く頑張る子
指導の重点	(1)よい人間関係を築くための言葉を適切に使える。 (2)自分たちの生活は、自分たちでよりよくする。	(1)学ぶ意義を知る。 (2)自分の考えをもってかかわる。 (3)かかわりを通して高まった自分に気付く	(1)体を動かす楽しさを味わい進んで運動に取り組む。 (2)けがや病気の無い、健康で安全な生活をする。 (3)自分の心と向き合い、自己の理解を深める。	(1)「何をしたいのか」「どうなりたいのか」という自分の思いを見つめ、その達成のために取り組む。

2 自己評価

	児童	そう思う ^{大体} そう思う	保護者	そう思う ^{大体} そう思う	職員	そう思う ^{大体} そう思う
にこにこ	相手を思いやり、ルールを守って生活することができた。	94.7%	子供は、相手を思いやり、ルールを守って生活することができた。	96.8%	子供たちが相手を思いやり、ルールを守って生活するように指導をした。	98.0%
	時と場、相手にふさわしい言葉づかいをすることができた。	91.1%	子供は、気持ちのよい挨拶や時と場、相手にふさわしい言葉遣いをする事ができた。	90.9%	子供たちが気持ちのよい挨拶や時と場、相手にふさわしい言葉遣いができるように指導した。	98.0%
	自分の生活をよりよくするためにできることを考えたり、行動したりすることができた。	91.9%	子供は、自分の生活をよりよくするためにできることを考えたり、行動したりすることができた。	83.5%	子供たちが自分の生活をよりよくするためにできることを考えたり、行動したりするように指導した。	87.0%
しっかり	今の学習が未来の自分につながっていると考え、進んで学習に取り組むことができた。	93.7%	子供は、今の学習が未来の自分につながっていると考え、進んで学習に取り組むことができた。	64.8%	子供たちが今の学習が未来の自分につながっていると考え、進んで学習に取り組めるように指導した。	93.0%
	自分の考えを持って友達と関わり、自分の意見をよりよくすることができた。	89.7%	子供は、自分の考えを持ち、人・もの・ことに進んで関わる事ができた。	85.6%	人、もの、こととの対話を大切にした学びの実践をした。	93.0%
	学習を通してできるようになったことや分かるようになったことに気付いた。	94.2%	子供は、学習を通してできるようになったことや分かるようになったことを自覚し、自信をもった。	90.1%	子供が学びの価値を実感できるように指導や振り返りの工夫をした。	87.0%
のびのび	体を動かす楽しさを味わい、進んで運動に取り組んだ。	88.1%	子供は、体を動かす楽しさを味わい、進んで運動に取り組んだ。	85.3%	子供たちが体を動かす楽しさを味わい、進んで運動に取り組むことができるような工夫をした。	93.0%
	事故やけが、病気に気を付け、健康で安全な生活をする事ができた。	95.2%	子供は、事故やけが、病気に気を付け、健康で安全な生活をする事ができた。	96.5%	子供たちが事故やけが、病気に気を付け、健康で安全な生活ができるように整備をした。	99.0%
	安心して学校に通い、楽しい学校生活を送ることができた。	93.9%	子供は、安心して学校に通い、楽しい学校生活を送ることができた。	95.2%	子供たちが安心して学校に通い、楽しい学校生活を送ることができるように努めた。	89.0%
こつこつ	むずかしいことでもあきらめず、ねばり強く取り組むことができた。	88.3%	子供は、難しいことでもあきらめず、粘り強く取り組むことができた。	75.5%	子供たちが自分の心と向き合い、多少難しくてもあきらめず、粘り強く取り組むことができるように指導の工夫をした。	98.0%
	「〇〇をしたい」「〇〇になりたい」という自分の思いを持ち、それをかなえるための努力をした。	91.1%	「〇〇をしたい」「〇〇になりたい」という自分の思いを持って生活することができた。	81.9%	子供たちが「〇〇をしたい」「〇〇になりたい」という自分の思いを持ち、実現に向かうことができるような取り組みをした。	98.0%
	クロムブックを活用して学習をしたことで、学習が楽しくなったり、自分の考えが深まったりした。	92.3%	ICTを活用することで、子供の学びが広がったり深まったりした。	81.3%	ICTを適切に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを推進した。	93.0%
3つの きれいな 4つの 経営の 重点	「きれいな心」を意識し、自分から進んで気持ちのよいあいさつをした。	90.0%	学校は、子供たちに自分たちの力で学校生活を豊かにする大切さを伝え、実践に向けての取り組みを行っている。	87.7%	子供たちが、3つのきれいを意識することで、心を通わせ、協働することができた。	93.0%
	「きれいな歌声」を意識し、自分や友達の声を聞いてきれいな声で歌った。	91.9%	学校は、子供たちに「3つのきれいな」を意識させ、豊かな人間性を育てることに努めている。	86.7%	キャリア発達を考慮した指導の工夫をした。	98.0%
	「きれいな学校」を意識し、そうじや花の世話をし、よりよい学校づくりに取り組んだ。	87.9%	学校は、保護者や地域の方々とともに、子供を育てる取り組みを進めている。	89.8%	目標を明確に、評価から授業を作るよう心がけた。	88.0%
					事前対応、事後対応において、報告・連絡・相談を意識し、組織で対応した。	99.0%
					働きがい改革を推進するために、やめる、かえる、へらすという観点で積極的な改善を行った。	76.0%

3 改善策

・行事や学習を行う際、意義や身に付けさせたい力を明確にし、子供に「おもしろそうだ。やってみたい」と思わせる提示の仕方考える。
 ・見通しを持たせて、進め方を考えさせたり、自分の取り組みを振り返らせたりすることで自分の成長を見つめさせる。その時、教師や友達から励ましの言葉を掛ける場を設けることで自信を持たせ、成功体験につなげる。
 ・「学校生活を自分たちで創る」という意識を一層高めるために、それぞれの学年の子供が活躍できる場を設ける、また、子供に考えさせたり任せたりする場を多く持つ。(委員会主催のイベントを全委員会が1回以上行う)
 ・ICTの活用やキャリア教育を引き続き行い、参観会で公開したり、キャリアパスポートを持ち帰ったりする。
 ・子供の学校生活や頑張っている様子をブログや学年だよりで家庭に発信し、家庭と連携して子供を育てていく。
 ・「働きがい改革」を進めるために優先順位を付け不要なものやことを精選し、子供とのふれあいの時間を確保する。

4 学校運営協議会による学校関係者評価

・「そう思う」「だいたいそう思う」の値は高いので、「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた子の困っている感に目を向け、課題を見だし、解決に結び付けるとよい。
 ・コロナ禍が長く続いていることで、「みんなと一緒に」や「仲間を作って」ということが減っている。他者との関わりやリーダーを育てることが大切。
 ・「難しいことでもあきらめず…」の「難しいこと」が保護者に伝わらなかったのではないかと感じている。子供と教師はできていると感じているが、保護者はできていないと感じている。保護者の理想と子供の思いの隔たりを埋めるために、目標を親子で決めるとよい。一人一人に合う目標を自分で決めることで粘り強く取り組むことができ、保護者も子供の頑張り認められる。
 ・「今の学習が未来につながっている」と子供が思っていることがすごい。教師の満足度も高い。
 ・業務改善は進んでいる。質と量のバランスを保ち、子供とふれあう中で、日常業務を見直すことよい。
 ・「足跡カード」を電子化するなど、教師のチェック時間を削ることで、子供との関わりを増やすことができる。

5 評価結果と改善策に基づく取組

・「そう思う」「だいたいそう思う」の値が高いことに満足するのではなく、「(あまり)そう思わない」と答えた子に目を向けるという視点をいただき、大変勉強になった。「(あまり)そう思わない」と答えた子は、困っていることがあると思われるので、そういった子に寄り添っていきたい。そして、その時間を確保するための業務改善でありたい。
 ・これからもコロナと共存していかなくてはならないが、一人で解決するには限界があるため、個性を尊重しつつみんなで協働して物事をやり遂げるよさを実感させたい。リーダーの育成も行いたい。
 ・ひと・もの・こととの関わり、本物に触れる体験を大切にしていきたい。そのために、地域の資源を発掘したり地域の方々の協力を得たりして、クラブ活動や部活動、出前授業を実施したい。学校支援コーディネーターにも力を発揮してもらおう。
 ・子供が物事に粘り強く取り組むためには、他人事ではなく、自分事になる必要がある。また、誰かに決められた目標ではなく、自分で決めた目標の方が達成に向けて努力をすと思われ。自分で目標を立て、実践し、振り返ることで自分の成長を見つめられるようにしたい。そのとき、周りの友達や大人の励ましが大きき力となるので、学校、家庭、地域が一体となって認め、励まし、心豊かな子供を育てていきたい。